

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024年7月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

1. 指数の動向（全国平均）

7月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**138.6**となり、前月比+1.1ポイント(+0.8%)と15カ月連続の上伸となった。前年同月比では+6.1ポイント(+4.6%)となった。

部門別では、**建築部門**が**138.7**となり、前月比+1.2ポイント(+0.9%)と2カ月振りの上伸となった。前年同月比では+5.3ポイント(+4.0%)となった。**建築補修**は**135.1**となり、前月比+1.3ポイント(+1.0%)と4カ月連続の上伸となった。前年同月比では+7.0ポイント(+5.4%)となった。**土木部門**は**140.3**となり、前月比+0.8ポイント(+0.6%)と2020年5月以来50カ月連続の上伸となり、最高値を更新した。前年同月比では+7.4ポイント(+5.6%)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年8月～2024年7月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【金属製品】 建築用金属製品（アルミサッシ等）

アルミニウムなどの原材料費や輸送コストの増加を背景とした製品価格の上伸が指数動向のプラスに寄与

【窯業・土石製品】 生コンクリート

製造・輸送コストの増加を背景とした値上げが浸透し指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【紙・木製品】 合板類

需要低迷の長期化から、一部地区で販売店間の受注競争が激化し、価格が下落。指数動向のマイナスに寄与

【非鉄金属】 伸銅品

銅・亜鉛の国際相場下落に伴い、伸銅品の取引価格も下落し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

建築用金属製品や生コンの価格上伸のほかに、形鋼類・鋼管類等の鉄鋼製品や、ボイラー類・産業用冷熱機器等の一般機械の価格上伸が、全国的に指数動向のプラスに寄与した。

各都市の指数動向をみると、【仙台】(前月比+1.2%)では、生コンクリートの値上げが市場に浸透したことで、指数が大きく上昇した。【新潟】(同+0.9%)では、製造・輸送コストの増加を背景とした道路用砕石類やコンクリートブロックの値上げが市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与した。【札幌】(同+0.8%)では、自由勾配側溝等のコンクリート製品や鋳鉄製マンホールふたの値上げによって指数が上昇した。その他の地域においても、指数動向は前月比+0.7%と大きく上昇している。

各地の建設総合部門の指数【7月分】



一般財団法人

建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp